

神奈川県立藤沢養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第1回神奈川県立藤沢養護学校 学校運営協議会		
開催日時	令和4年6月15日（火曜日） 午前10時00分～12時00分		
開催場所	神奈川県立藤沢養護学校 第二被服室		
出席者	運営協議会委員8名（本校校長を含む） 事務局教職員11名		
次回開催予定日	令和4年10月中旬 開催予定		
問合せ先	所属名 藤沢養護学校 副校長 電話 番号 0466-82-9413 ファックス番号 0466-83-3520		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
会議経過	<p>(1)開会</p> <p>(2)学校長挨拶</p> <p>(3)委員紹介 自己紹介 事務局紹介</p> <p>(4)令和4年度 学校運営協議会 運営計画</p> <p>(5)令和4年度 学校経営方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが大切にされる学校であるために次のことを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ①わかった・できた「わかる授業」の実践【授業の充実】 ②あいさつ・さん付け呼称の推進【人権尊重】 ③地域との協働の推進【共生社会】 ・令和4年度 教育環境整備関連事業及び「かながわ特別支援教育推進指針」に係る事業について <p>(6)令和3年度の成果と課題 令和4年度学校目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度学校評価 実施報告 ・令和4年度学校評価 目標設定 <p>(7)グループ・学部運営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務グループ運営計画(教務企画 教育指導 支援連携 総務管理) ・学部運営計画(小学部 中学部 高等部 鎌倉分教室) <p>(8)部会の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針にある地域との協働の推進を受け、地域のコミュニティーの 		

<p>意見聴取</p>	<p>中にある藤沢養護学校という将来構想を描きながら、切れ目ない支援部会の充実を図りたい。</p> <p>・「地域のニーズと教育活動のマッチング」「地域の中での学校防災」を内容に加えること、部会の構成員等についてご意見を頂戴したい。</p> <p>(9)協議</p> <p>(議長) 学校経営方針を実現するために、学校をサポートする立場で意見をいただきたい。</p> <p>意見・質問等</p> <p>(質問) 具体的な方策に「防災教育を教育課程に位置づける」とあるが、所掌する教務企画の運営計画に触れられていないが、いかがか。</p> <p>⇒授業改善に取り組む中で、次年度に向け教育課程に落とし込む予定である。</p> <p>(意見)「さん付け呼称」は、一人ひとりを大切にすることにつながる取組である。大切にしてほしい。</p> <p>⇒〇〇さんと苗字で呼ばれることについて、特に低学年の保護者は、他人行儀と感じる方もいる。一律に進めることは難しい面も感じるが、「〇〇さん」の後に乱暴な言葉は続きにくい。授業等、場面設定を工夫し「〇〇さん」と呼ぶことが増えた。全体として意識が高まってきている。</p> <p>(意見) 様々なことが身に着くまでに時間がかかる子どもたちである。病院や社会生活の場面では、苗字で呼ばれることが多い。しかし、苗字で呼ばれる経験がないと、「自分が呼ばれている」とわからない。苗字で呼ばれる経験を積み重ねることは、社会生活を送るうえで必要なことである。学校で、さん付けとともに、苗字やフルネームで呼ばれる経験を積み重ねることはありがたい。</p> <p>(意見) 授業改善のために、互いの授業を見合うといっても、互見のためのシステムなど、ある程度強制力がないと難しい面がある。情報班が橋渡しになれるのではないか。ICT機器を活用する中で、授業を見合うことを保証できるよう考えてほしい。</p> <p>⇒コロナ禍において、オンライン授業、参観等、ICT機器の利活用が進み、職員のスキルも向上した。録画等による後日視聴等を考えていく。</p> <p>(質問)「わかった・できた」を引き出す授業に賛成である。その上で、わからない、不得意と気づいたことを、どのようにフォローしていくのか。わからない、不得意と気づくことが大切である。</p> <p>⇒「何がわからないのか」の気づきを促すかわりを、人格の否定ととらえる</p>
-------------	---

生徒もおり難しい面もある。次のように考え対応している。

①できない原因を考える。(アセスメント)

②スモールステップで手立てを設定する。

一人ひとりにフォーカスし、一緒に考える。知る、気づきを促す取組。

⇒実習報告会で、他の生徒の考えを聞いて、共有する機会を持った。

⇒困った時に伝える力を育むことが大切。失敗しても大丈夫と思える環境づくりと、失敗したときにどうするかを考える取組を小学部から積み重ねる。

(議長)ライフキャリア教育としても、SOSが出せること、頼れる人がいること、頼む技術があることが大切である。学校で失敗の経験がないと、社会に出たときにどのように対応したらよいかわからない状況がある。在学中に立ち直る力をつけていきたい。

社会は卒業後だけではない。地域の横のつながりが大切である。学校に対する、地域ニーズを知りたいが、いかがか。

(意見)この地区には、「学園都市むつあい協力者会議」がある。この会議体を活用することにより、学校間交流や、地域交流学习がやりやすくなると考える。学校として、具体的にどのような取組があるか。

⇒昨年度、地域の中学校とオンラインで学校間交流を行った。また、老人ホームとも、オンラインで交流を実施した。

(意見)小学校では、昨年度、小学部の作品展示や、3年生がビデオで交流をしていた。

(議長)交流の受け入れだけでなく、そこに学びがあることが重要。特別支援学校の子どもも、地域の学校の子どもも、互いの学びになるとよい。

(議長)行政の立場としては、いかがか。

(意見)三者連携、地域の人とのコミュニケーションを通して、共生社会の実現を考えている。子どもたちのモチベーションにつながる事業となるよう、関係団体につなげていきたい。

(議長)昨年度末、ホームページについて、見る人の立場に立って、知りたい情報を掲載していくことを申し上げた。今年度は、随時更新されており、学校の様子が発信されている。

(まとめ)

学校運営協議会運営要綱	確認
令和4年度 学校運営協議会 運営計画	確認
学校経営方針について	承認
令和4年度学校評価 目標設定について	承認

	<p>部会の取組について</p> <p>内容の充実について方向性の確認。 具体の取組は次回検討</p> <p>会長より 実践の中で、困難にぶつかった時に、このメンバーが支えられる立場になりたい。</p> <p>学校長より 貴重なご意見をいただいて大変ありがたい。今後の学校運営に活かしていく。経営方針にそって、同じ温度感で職員が実践できるとよいと考える。活発な教育活動を次回報告できるようにしたい。</p> <p>(10) 閉会</p>
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県立藤沢養護学校 学校運営協議会運営要綱 ・ 令和4年度 神奈川県立藤沢養護学校 学校運営協議会委員名簿 ・ 令和4年度 神奈川県立藤沢養護学校 学校運営協議会運営計画 ・ 学校教育計画（令和2年度～令和5年度） ・ グランドデザイン ・ 令和3年度藤沢養護学校の教育活動に関するご報告 ・ 令和4年度 神奈川県立藤沢養護学校 学校経営方針 ・ 令和3年度学校評価報告書（実施結果） ・ 令和4年度学校評価報告書（目標設定） ・ 令和4年度グループ・学部運営計画 ・ 令和4年度 学校案内